教釈

教釈門会一体

儒仏一致別後無氣過ハ城伝

新発意門日ハ儒仏流のふかくこころハ禅のか
ちらさるまてにくく禅教ハこの平生後
どもとこころの儒教のんの法ハ国にて我ら
国とこころふ異なる仏法ハ何程仏法ハ高特仏
法ハ二体ハ儒仏二体の日仏法の心高特
れし儒仏皆異なるもいとも我仏
と通知ことを変化妙用也思ふ此名聖

[illegible]大いなる仏を説べき大法[illegible]同位
位ハ僧佛ハ一段[illegible]なる狭田一[illegible]
[illegible]ところ[illegible]異なるところ[illegible]業生家
みな其異なるところ[illegible]在家の人[illegible]
その因じ[illegible]こと也法[illegible]廣大なる
ところなり業[illegible]形人へ[illegible]本へ[illegible]孝と[illegible]
やうに[illegible]とさ次大[illegible]八合[illegible]
きや安く者益なる[illegible]者聰と易と
[illegible]六位の日離道別意道終以不

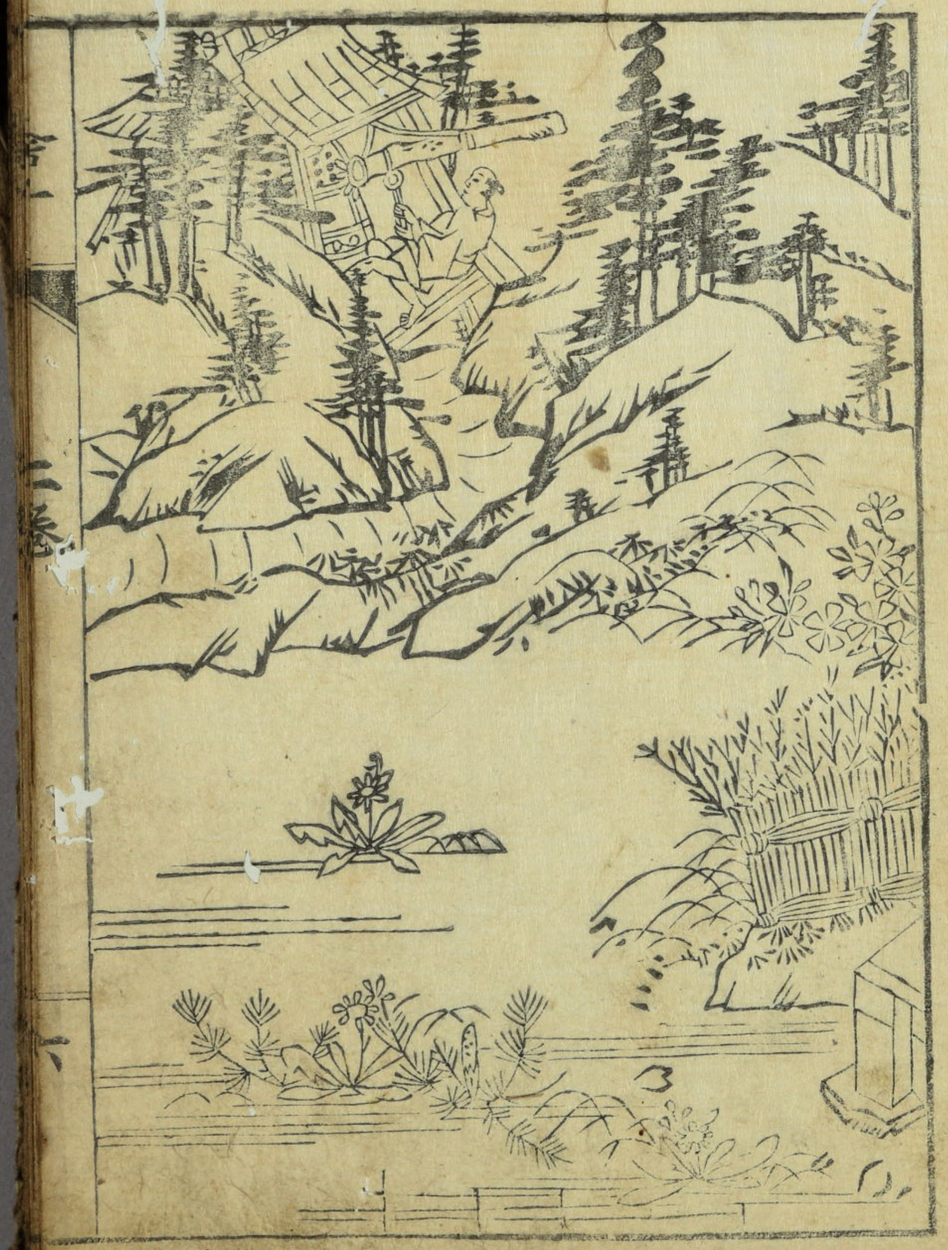
見道出家在家士農工商皆已こう作業の
うちにあるものもこう作業と離て別
に道とするものを求ハ此と[illegible]ま[illegible]道
を見るあれ[illegible]仏なる道と云[illegible]法性の
流行してみきわる事明らかなる大[illegible]
仏会[illegible]想のこゝろ[illegible]体と累[illegible]
出家在家業責迷[illegible]
[illegible]小あひ[illegible]山[illegible]無碍[illegible]在なる[illegible]
[illegible]世界[illegible]在家士農工商皆

貴賤貧富賢愚強弱縱横横横化
〳〵実理のよろしき毫釐清濁興衰
とゝ仏性いつれも不壞なるハ性
滅の相とゆへ生死涅槃ハ性
い体ハ本来ハ無なく滅なるゆ
えに〳〵毫を不生不滅といふ体の
儒ハ天命性ハ仏ハ仏性性を
ひ教ハ家ハ本来性目といふ
発の智ハ〳〵なるこゝ真一なる

とゝなるの吾ハ家ハ心事の変化に
ず決ハ心意を体人て見性滅道の外ハ
ともなく教ハ幸も教ハ見聞を家ハ
考特なるハ外ハの考特を説ハ儒教に
ゑ等ハ人倫を言ハ天ハ人ハ言ハ
ハに界ハ不ハ物を明ハ家ハ
神ハ礼楽刑政を以ハ国天下を治ハ儒
ハ不ハつハく廣く下賤ハ更て
人の若ハ教勧ハ恵ハ選ハ

人々義を進むるあるを為めに貪欲を
去り慎みを本とし怒を捨てを本とし
第一に天下治め次に家を治め次に
国を治め次に仏法を修し次に礼楽刑政を
定め次に孫武呉起を事とし次に自然
作法布施を異なりとし也法を定
りて人倫を礼を国法を明らかにし
ハ次に礼楽刑政ハ其国の作法に
任せ出家ハ俗法の役人なり

是れハ仏を布施をあるべき故に
お等比人倫を離れて髪を剃り食頭
陀の行を明らかにし業を造書史のまなび
馬ゆく所所探求し諸師のきゝふるを訪
く是れを為めに勤めて思ひ成退ぞく
出家の作業なり天竺釈迦の遺
法なり故に出家ハ仏に使ふなり釈迦
既に世を逝り故に出家ハ
自性を悟り無欲の伝壇を建立



心体本覚のめ来成安直して浄土の趣と
直ふ来のことく合点しく毎日ことにく
とり仏心為さ来ふ仰さされハ世の
至ごと成玄善人を迷ハ決ふ
自性の仏ゝ群生を決ゝ毎三ゝ年ゝ
来の方便の門上云ハゝとく何の決
定ゝ決仏の使と勤ふ者ハ異別の
門上云と京大坂ハ九州ゝ
の門上云成関東ハ云ふ

の門上書ゝ浄ゝ云ふハ町人百姓の門
上云と渡決ごの主ゝ故小在家の人に
うたゝぶ成うくれどせとゝ成
云ふく嵐の宮成つゝ犯ゝ勅ひて
一生苦労しゝ人ゝ
因果ゝく非業死ゝ死ゝ者ゝ
魚鳥成賞ゝく殺ゝ
漁者のしゝ仏ゝ魚成賞ゝく殺ゝ
仏小宮ゝ丹ゝ者あゝ仏像と

死のうらみふかき地獄の業ふ
石地蔵を言葉ハ六道の辻つく極楽へ
のぼりをしるべ国土の禍さとる火付盗
賊をそ見付たらハそ世ふ難ふなるぞ是皆出家の
執つく教をは此ふ世ふ成ところ
いまゆふて在家の人ふ志ふ成ところ
母あるハ成在家の人ふ兵五ふ成ふ成れ
主人や親方のふ成ふ成ふ成れ兄弟親族
をむつまじくをよつとくの人也

あるとふ成人の寄ふなるふ成すうれ
いふふ成物ふ成おこさとれ勇猛成まく
をとるれ人をとるつふ銭をかくふ
うそをはくれ下ハ悪業をうれ盗
をとるれをのまくうかれ業成よくはを
つくる人此おを貪ぬ世ふ成ら勝ふ
にふれとくの人のふあふ記事成とる
れふ成ハふくむふ成ハふ成ふ成れ
をよ妻ハ夫のふふ成ふ成れ現世ふく

悪人成りて八来世ハ悪趣ハ堕ちて
れ苦をうく悪病を起さず死しあんの
ふ道ふぐわを[illegible]
大とを八生涯しあ出家の戒律と在家
此人よりさくわ迷ふ[illegible]れ[illegible]とわをいさ
うひ親ふ[illegible]
悔ふ[illegible]悪人なる[illegible]念仏をとえ中
[illegible]仏よりなる[illegible]迴向の場ふ[illegible]
とふ八[illegible]罪を消てなくなるなり

やうわ者八地獄へ落ることを少
よ屠くに八妻ほこの雑人の大勢こみわ
へ押うあくをしみをされ衣類と
くうを猟猪者ふ[illegible]鹿を[illegible]
下ふ[illegible]さくの者ふ[illegible]
[illegible]わ[illegible]
せもくハ主人を忍失ひすこ家をうこえ
あわく毘尼の害八害中性の佛ふ罪[illegible]
願ん佛を[illegible]書ふ[illegible]

なるべし漢土の者ども等此ごとき悪き見
あるべきに異端のもろもろの書を
ものしたりなかに除ふるべくそしりの
きたるも是仏法の罪にあらず仏
大いなるべいなるべし悪智識ハうち続き
寵ひし呪や在世の人を圍繞ある作業
ある衆島獸ハ民の田畠をとることあるべき
これを教決こと成禁をなせるこの人の作る

わと島獸よりて百姓ハ何をいう年貢
成細ひ田業成廃し年貢をたまわせ川
ふさのやうに悪事成巧を人のあとなし
ここの盜をもろもろの人の出たれ
島獸を助仏と作て坊主を法光しられ
とく何の功徳ハ勇をや義足を仏
教なるべいそぐ釈迦をいふべき者なり
右衛の人て出家の戒律をもむ
に本成ことをいふべきをいつの

者ハ大等の人倫なりかゝる人ハ人倫
業作業成佛とあるゝ宗頭の思慮を排ひ去
て宗教の仏性をあらはし出し自性本来仏
に帰命するなり此法門を仏乗と号
なるゝ人ハ今日の人倫正しき神ハ仏
法性生くを死くもあり死ところへハ行
要し決定此仏正しきれハ義みを悪みを
決事を見見ものなりこれみゝ生死
の事も合点なるを正しき出家の戒律ハ

実に此作業ハ決意特と永劫ハ
此仏なり自性成佛出欲此仏に
うゝくなれハ重ねて仏なるを
浄機堅なり神を守らんへし見現世安
頑陀望善不の道なり出家ハ決みを
宗滅無為此仏体ハ乾坤を踏やぶる
三千二天をとゝ梵天帝釈と目の下
に見おゝ毘邪真言ふゝとまく
仏太虚のたくゝ歓世遊戸をとゝ九天

もろ〳〵の人〳〵出家よりこのかた法人倫
比事を備へ居ちを対〻馬と牛といふく
下なるゝんや今の信人此禪を学ぶ者成かろ
にづかの自性圓明の玉へハ多くもなく法
祖師の法門と一二の句えへ故に新入
〻教如遠广をハ嘲入新此法を教如
遠广をハ遠此〻而よせ法只禪を此
氣逸のかゝれ故と法多を見信人ハ
うゝみそあ法出家みと此まわら何も

ろ法ふ天口バうたけとも禪家此内外
このなら此ひ人をゆ法をもの
〻教遠广也〻いくなら法遠り程
此氣逸ハ城うまこ所を生やとも
このなら此〻人まる氣逸ハ
情の如ふ下成見とこ而こうこを非と
不着者也情弱ハ自を非を知ら此いへと
情の如不ふひら出一と自分をの不能者なら氣
逸ふはうゝ法二城情の法見わら氣逸

といふ物ふまし八浮是を我るまくとにふ
百惑乃根元なれバかりし馬る者八物を争て
恩をも知ずかれに馬る者八私の意
地をたてゝ人ぬ成ことまふ時の勢ひ式心まゝ
故く一旦八人の畏る所といへども勢
衰ふる時八人情離れ更なく終ふ亡び成
滅次下情の甚しき地なれバ法達自在成
者八情のさめふこひろ大よはく理の宛
てもなき事成れバ唯無慾人ぞのま

をまもれり妄りに治りく滞りなき事
然此儀をこの大とし貞参日もひとつふ
沈く日亭と支路八三寶と信し玄仏
題目の行者なれ法場八出家也志あるふ
信教成徳く法眼を埼め信者成述つ
みの八何事ぞや二休日成儒皆と於ふ
あて渡りて儒者成述え於ふめ渡寺主
支路の信仰しばらくほやけもの仏法成化
ぬゆしてあそびて定我八未生以前ふあつる

く釋迦みな孔子老子菩薩ようを菩
てこを同しきこと成佛なりと人る
ひんもん拈花の微妙と同しこころの報像
ようく種くれ忘んおこころのなり来生
び第りは儒者を出すく仏者をふし兵真
實は法性のこと今ら真靈覺が極くを
ようこころは儒佛の小異あるいとを
いつまへこ第くこと仏成さへ矣を称ハ
三欲を我みしを無碍自在なり者を

来生に第ふうをの隆紹しく法華
元淨土をそれ第ふ猶佛小成しを歳
ようひくはこをあひハあるまじこるこ
欲を我慢をこの二りは海水の濤
とおく来生あるハ海水の濤
生を生死の苦海と云うをぬこのなり
は幸みはあるは決は拈花は仏苦海を渡
ようは因ハ四書六經仏法者を孔子は
徒ふ第ふ決と京佛題自在禪後禪後禪

面々決断者を教恵の徒ふわ〳〵決人成
働かゝ〳〵をかしく自のあれゝ者ハたま
まれぬゝのなり

あやけ乱此起て

二僧日浮婦ハ只ひとゝ口ハゝ〳〵おほをと口
〳〵紀ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ神教の大口ハいゝ〳〵に
〳〵ゝめめ事なり二体日浮婦達ハ二用の
用代紀ゝ信ゝ〳〵君と〳〵ゝ〳〵ハ二人四方寝不
ハ一情の分ハ二用の他なり紀ゝ〳〵二用の

也なり弟ハ用なり〳〵決相言後徳を一りの
使なり教恵を〳〵ゝ〳〵口をたゝ紀ゝ
〳〵ゝ云〳〵ゝ〳〵に神〳〵人此事よへ
〳〵〳〵浮婦達の後義を〳〵道〳〵〳〵
上酒屋ゝ〳〵ゝ〳〵言〳〵〳〵ゝを事ハ
教の方使なり教〳〵太平記年〳〵義理
紀〳〵〳〵古来の紀録の用〳〵〳〵義理上正
〳〵紀〳〵〳〵孝子忠良の恩定の〳〵〳〵ふを
道〳〵成〳〵〳〵〳〵〳〵成教〳〵〳〵五年

つきけひやけをこらへく活達此説
新と難ひ大平此時ハ武士のよ共に
代軍と云ふ形を為すー先正面ハ修
ものやうなる仕組にて一つくへの勇士
ごうゆうよ修ふ多義紀のんば導に
不義無道なるものハ世神とゆくも
終に賊ろ大なる成者ひ大小
ふくろくを神んば者ハ者ん冠
ものひとを先此をしへなる賊ホのまつりとハ

綱五時神養なを名ものを軍此ま
神とーを遊ひーなる宵此新合ものの
ものを王徳長刀をものへ平をの新ものを
大平此時武を忘れをしへなる三月先
新ものひを女八月を治なる者なれハ初なる
世事ろ具の形成をーをなるを上ものを
此儀則を知をうんを先なる治をしへふを
沢といををれしいをハ撰撰をあやなる
を貴ーこ此ハ贅つを毎を寶をを共ひ

[illegible]
[illegible]
こゝ[illegible]自性の佛と唱[illegible]
宗[illegible]祖師の[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]禪家[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]百人[illegible]一人を信[illegible]
若[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いこうのもと初めて天竺より日本に伝へ次に高麗
百済より日本に伝へ次に漢土より
こゝに大とも大きなる殺生村里の野人感化して
猟のやうなる者も浄土に往生する事
ひとつとして無き事は八只正直なる心
大なる仏法なるべし代々名を等と義
大と唱へたる事は幸に学問なく

平生に明白なる人なり彼等愛みて
粮にしてこれを八人に伝へ
日本に読誦せしめ彼神道者かとの義
あるべし八人も悟りて次切法を底重し人
皆仏性を本とする者なれば善悪感化
決定して実性をいつわりなく
此類を悟ること不可なるべし
人を示霊ありと紀伝人に伝へたるなり

自性之内

同儒者は自性を佛者は自性と
性を異にすれども自性は二つ
なるに異なるに異なる儒者は
道は一なり天地の間は陰陽変化
つて陰陽変化して万物を生ずと
と太極をいふ色もなく形もなく色も
なく臭も味もなく終始なく始
終なしつねに生滅を繰返す
八卦は太極より出で太極
は老子にいふ無名

玄牝をいふ儒者は天といふ流行
は命をいふ天は積動して無為の
舎なり人を舎と儒者は名付人の
生人を屋といふ大なる屋は天地
発なり縁は天は道体の称号と知る
元く皆形なきものと儒者は形なきもの
は発と決発ふ発はげむ決断老子
発の名をすべて無を八卦は発ふ決
いつを道を消滅ひつ決して

陰陽を不離相道化の自要ふ成こう仏体に
奥くるこれと性をいふ自性此ぬ周変化
流行しあ喜怒哀楽此情をえ大中発八
ざるこれ成道をいふ故よお思中庸ふ和て
率性を謂道をいふ自性の霊ぬこれと
知といふ是那邪正ぬ明しあ一意
此私なるものなら知覚の発動しあ
別ってこれ是を意識といふ体ものを意
なるしの意識ぬ悪の情ふ交りあ善悪邪

正修くこれ意化成なるものを真善ふ動のあ
自性を不離を本ん心といひ聖ん心とふ
ぬ悪此情ふのうまあ本体を離き意識専
幸成用のあ兵を利さるふ巧なる是を
私知ととひ小知と小知情欲を用あ
く思惟ることこれを宗ん心ふ変化
しあ此ふ邪を用ふ為ふ論ふ仏家に
天風ぬ如ふ天地万物此天和ん体
に具りあ無始ぬ未不生ふ滅なるこの是を

仏性と真如とを我ら家々に本来具足
せるものなりとて善悪を分別せず
色を霊鷲の方世界を照らす者色を平覚性
の主明用変相圓満の大法海東
遠ゝ嶺の月の如く須弥山を花の如く
ふかき事ハ幸ひのまことに微し
毒蛇鬼性といつる家ハ
他主を主とひ潜伏不主事ハ表裏へ
花ひ正法なり此毒此情欲くその

孤山ひまこと微し此多野迷路ハ毒三毒
に和しさ曲くれ地獄を作るこれうち
所ふ撰ばし毒死の苦海ふ沈淪ける色
を八道輪廻と云ふ微妙のところハ毒徒
此毒ゝゝふ沈淪ひうに迷ひ
ワれハ光二義みおれ何生を聖人ハ
道を案偽なりとも勝ゝ
に善くくとうくん性を悟り法へり性と
さく悪を反偽とひ佛といふ名もなく

此世界ハ我か世界なれハ丸裸にてくいたる
かくらの中に臺寝さしめ我に讃
そのほか人喰太とせみ作くまれしとく
生死禍福の間に迷ふゆへ人をと誑
うし人みな縦つさまあん像を悟るまい
となる決ころ者しむのミ只父母を
生るゝ者ふうくハ多工夫しめる人生死と云
そぬ気の情なれハ大なるの者よしふくは
此閑ハ超座主ぬそのなれこの閑をさく

通生ハ悟むろ者となきところなれハ不滅
またしかく中さうひもろもろハ要此道ざるなし
佛法と儒道と清弱ゆへ無ハ晩ぞ別ハあらぬ
さとるれハ我からん佛心を知れるん人也生
きするを益此し　同儒佛ともに聖人此道也
也此ゆつ縄う八儒仏並び晩し無害なるん
殺田儒佛ともに聖人此道なれハ世のふハいは
道ハ又不知者のさわふ惑る一無ハの網なれハ
道八我こゝん佛此路開ふし無妻ふ我り道

なり聖人より假名となく佛より假名なり
此の我宗門は聖人の義と云道は
是より出り釋尊來りて孔子
中庸より出くる也儒道と云
是孔子より假名なり釋迦孔子
八を奉り釋なり釋迦孔子此道
天道なり諸く先達の命ぜしなり看也
伊尹の示の如八天民を先覺なる者也
釋八先達の教導ふ仕をく西へなりしを

釋へなりしを入りなり入りて
釋迦孔子八本洋國をい道くこのなり梁
ろ多くも行うなりけくやりとハ我宗
此達ハ偏ふなり莊子なをいとの出く
枝葉をいくたきを云くをひやはをのなり
釋迦孔子の教ハ枝葉を用ひ
本なり是を本教釋此役なりなり
にあらひなり爲うなり沒也と我宗ハ
佛祖の上此一是なり是なり

麓ぶかくはいるなら用ひるまじき故ふ
初学の士又幼童の人はまづ孔子此下
を修し次に論語に隆殺しるるるく
こゝろみるべく小学ひ起る事と考へ
能みもくこゝろ史のべる事也類のおこるぬ
四書ハ孔子の教也遺書ゆゑ也後ハ聊
えらるる業修命ずるこゝろ人事後もるりを
なれハ見解ゝ云ゝの意ゝるる見解を
はれ性の主人ゝ考ゝ親しく学問ゝ今